5 ポリオ・プラス

ロータリー財団管理委員会は、ロータリーの最優先事項であるポリオ撲滅へ取り組みを支援し、全ロータリアンがポリオ・プラス活動に参加することを奨励しています。地区内でのポリオ発生の有無により、ポリオ・プラス小委員会の活動の焦点は異なります。

ポリオ・プラスの目標は、ポリオ撲滅の世界的証明を実現させることです。最終的に撲滅が証明されるまで、ロータリアンが、常に最新情報を把握し、活動に関与していくことが大切です。これまでに、世界中のロータリアンからポリオ・プラスに9億ドル以上の寄付が寄せられてきました。さらにロータリアンは、診療所を支援したり、予防接種のために地域の人びとを動員したり、その他のポリオ撲滅活動に参加するなどして、草の根のボランティアのネットワークとして精力的に活動にあたっています。

推進と教育

ポリオ撲滅の最終局面を迎えた現在、重要なのは、ポリオ・プラス小委員会が引き続きロータリアンと地元市民に対して、撲滅にロータリーが果たした役割について啓蒙していくことです。さらに、地区内のロータリアンに対し、ポリオ・プラス基金が、最も効果的で直接的な方法（主に全国予防接種日のための市民の動員と運営の費用や、監視［サーベイランス］活動の費用）でポリオ撲滅のために活用されていることを、ぜひ伝えてください。

このほかにも、次のような活動をご検討ください。

- 地元のメディアと協力し、募金活動やイベントの話題、元ポリオ患者に関する話題を取り上げてもらう。
- 世界のポリオ感染数の最新データをクラブに送る。
- クラブ会員に全国予防接種日に関する情報を伝え、参加を奨励する。
- 次の資料を入手し、研修で使用する：
  - 「End Polio Now」ポップアップボックス（989）および襟ピン（988）
  - ロータリーの2億ドルのチャレンジ・ポスター（987）およびDVD（985）

お忘れなく

「End Polio Now」ニュースレターの定期受信、またはオンラインの「ポリオ・プラス・ヘッドライナー・キット」を利用して、ポリオ・プラスのニュースおよび最新情報をご覧ください。

募金活動

ポリオ・プラス基金は、全国予防接種日や監視活動といったロータリーのポリオ撲滅活動の経費に充てられます。2007年から2009年にかけて、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団が、世界的なポリオ撲滅の支援のために、国際ロータリーに対し、総額3億5,500万米ドルに上るチャレンジ補助金を授与しました。ロータリーはこれを受け、2012年6月30日までに、この補助金に2億ドルを上乗せして寄付することを約束しました。ポリオ・プラス基金への寄付は、この「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」達成のために算入されます。

「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」のため、新会員、新クラブ、地域社会の人々からの寄付を呼びかけるよう、管理委員会は要請しています。地区ロータリー財団委員会全体で、ポリオ・プラスの支援のためにDDFの20パーセントを寄贈することを検討してください。

ポリオ・プラス補助金

ポリオ・プラス補助金は、感染者が出ている国の政府や、プログラムの協同団体（世界保健機関［WHO］、ユニセフ、米国疾病対策センター［CDC］など）との協力の下で支給されます。補助金申請書を提出できるのは、これら協同団体もしくは全国ポリオ・プラス委員会に限られており、申請書は、国際ポリオ・プラス委員会によって審査された後、管理委員会の定例会合で承認が行われます。詳細は、日本ポリオ・プラス委員長までお問い合わせください。

ポリオ・プラスに関するリソース

以下の補足情報は、RI世界本部のポリオ・プラス担当部からお取り寄せいただけます。

» 「End Polio Now」に関してよく尋ねられる質問

» ポリオ・プラスに関する最新の統計

» 募金活動のアイデア

» ポリオ・プラスのパワーポイント、発表の要点